

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	全体会議、ユニット毎の会議、ユニット内カンファレンスを開催しているが、統一事項の順守がされていない。 またカンファレンス時にスタッフからの意見が少なく、個々の意見交換があまりされていない。	会議、カンファレンス時に、1人1発言ができる。統一事項の順守がはかれ、サービスの均一化が図れる状態。 AI(waiseman!)を活用した情報共有を積極的に行える。	・職場会議、ユニット会議の開催方法、意見反映手段の検討 ・利用者個々のカンファレンス機会を設けて、情報共有・ケアの統一を進める ・タブレット端末を活用した情報共有を積極的に行える	12ヶ月
2	2	新型コロナウイルスの影響で、事業所と地域のつながりが持ていない状況。 実際に集まることでの参加ではない方法の検討をしていく必要がある。	外出企画やボランティア様の依頼等でない形での地域とのつながりを検討し実施できる	・地域とつながる方法の検討を職場会議時に行う。 ・何かしらの形で地域とのつながりが図れる。	12ヶ月
3	4	運営推進会議の集合会議がコロナウイルスの関係で行えていない。定期的な開催が困難な状況。	コロナウイルスの警戒レベルに合わせ開催を検討し、書面等を活用し集合会議ができなくとも情報の共有が図れる。	・市内のコロナウイルス感染症の動向を確認し開催の調整を図る。 ・開催が困難な場合は書面での共有を図り、質疑や細かい調整は個々に電話対応等で情報の共有を図っていく	12ヶ月
4	1	事業所目標は職員間で共有が図れているが、法人理念、綱領の周知の共有が不十分な状態。 職員間での周知が図れ、綱領に沿った社会保障拡充に向けた取り組みが行える。	事業所、法人、全国組織の理念、綱領を全職員が意識したうえで日ごろの業務が行える。	・職場内での掲示 ・職場会議内での周知を図る	12ヶ月
5	35	災害対策について、火災や地震、水害に時に昼夜問わず利用者が避難できる方法を、職員間で統一した対応が行えるよう、シミュレーションが必要であり、地域との協力体制の確認、構築が必要。	定期的な避難訓練の実施、災害時に備えられる。 必要物品の明確化が図れ、備蓄品等の定期的な管理が行える。地域との連携が図れるよう、調整していく。	・災害マップの再確認。 ・災害物品の確認、定期的な管理 ・災害ルートの確認、訓練実施 ・地域との連携が図れるよう連絡、災害避難計画の作成、情報の共有が図れる	12ヶ月

注)

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。